

社会福祉法人 庄川福祉会

ケアポート庄川だより 第4号



〒932-0305 富山県砺波市庄川町金屋字岩黒38-1

TEL(0763)82-6868 FAX(0763)82-4192

URL <https://www.shogawa.jp/>

介護老人保健施設 TEL(0763)82-6868
通所リハビリテーション TEL(0763)82-6870
デイサービスセンター TEL(0763)82-6871
予防ひろば TEL(0763)82-6778

在宅介護支援センター TEL(0763)82-6861
居宅介護支援事業所 TEL(0763)82-6861
ボランティア室 TEL(0763)82-6878
デイサービスゆずの木 砺波市庄川町高儀新95-3
TEL(0763)82-6864

令和元年5月15日発行

入所の方のリハビリについてご紹介します

専門職員が入所されている方に寄り添い、在宅復帰のために週2回以上機能訓練の支援をしております。



リハビリ室や広い施設を利用し、その方に応じたリハビリを提供しています。



リハビリ機器を使用し、筋力・体力維持に努めています。



個別のリハビリの他、集団で体操やゲームを行ったり、手芸などの趣味的活動や計算などの脳トレも行っています。



楽しい時間を過ごしていただけよう、頭と身体を使ったゲームや体操を行っています。また、計算問題や裁縫、塗り絵など、その方に応じたリハビリを提供しています。

中庭で野菜を育てたり、季節ごとにおやつ作りなども行い、活動的に過ごしていただけるよう努めています。



皆さんの経験を活かし、野菜を栽培されています。昨年は、ミニトマトや二十日大根を育てました。

今年も収穫が楽しみです。



年に数回、季節に応じたおやつメニューを考案し、皆さん一人ひとりが役割をもって楽しく参加していただいています。

地域密着型デイサービス「ゆずの木」についてご紹介します

「ゆずの木はケアポートの施設ですか…」と時々質問されることがあります、まぎれもなく庄川福祉会ケアポート庄川の一つで、砺波平野特有の家々が点在する高儀新にあります。

今から十数年前は、地域にデイサービスの施設が少ないと、利用ができずに待機している方が多数おられました。その状況から、平成21年に『家庭的な雰囲気を大切に、和気あいあいとふれあえる場』として小規模デイサービス「ゆずの木」が誕生しました。その後、「小規模デイサービス」から「地域密着型デイサービス」となり、「支援が必要となった高齢者の方も住み慣れた地域で、自分らしい生活を最期まで続けることができるよう」にと、地域資源としての一翼を担うことになりました。

地域に開かれた施設として次のような取り組みを行っています

利用者のご家族・地域代表の方・市役所の職員などに出席していただき運営推進会議を開催しています。デイサービスでは年2回の開催を義務づけられており、利用者状況や体制、活動内容等について報告することで提供しているサービス内容を明らかにし、透明性を図り質の向上に繋げています。



保育園行事、獅子舞など地域住民との交流や地域の活動へも積極的に参加していただいている。また、ボランティアの方の慰問もあり、毎回心待ちにされています。



地域の方々から果物や野菜などの寄付をいただいている。特産品の柚子は、ゆず味噌作りやお風呂に入れるなどがゆずの木の恒例行事となり、ご利用の皆様は楽しみにされています。また、よごしなどの郷土料理をはじめ、地元産の新鮮な食材、旬の物を活かした家庭的な料理を提供しています。

温かな気持ち
に支えられて
います



その時々の思いを大切にし、笑顔で、ほっとできる居場所となるように・・・

季節ごとの楽しみを感じていただけるように野外活動を行っています。「こんな歳になんでも、いろんな所へ連れて行ってもらえてありがたいっちゃ。まだまだ長生きできるわ」と話されます。



ゲーム、手作業などのレクリエーションを行い、脳機能や身体機能を活性化し、また、他者との交流する機会として繋がる楽しさを感じることができます。「頑張って」などの声援も飛び、盛り上がります。



居宅介護支援サービスの流れについてご紹介します

居宅介護支援事業者とは、

ケアマネジャー(介護支援専門員)が在籍し、ケアプラン(介護サービス計画)作成の窓口、要介護認定申請の代行、サービス事業者との連携・調整を行う事業所です。

※ケアマネジャーとは…介護の知識を幅広く持った専門家です。

- 利用者や家族の相談に応じ、アドバイスします。
- 利用者の希望に沿ったケアプランを作成します。
- サービス事業者との連絡や調整をします。
- 施設入所を希望される方に施設を紹介します。

<対象者>

要介護1～5の認定を受けている方



<ケアプランの内容>

- 例)
- ・自宅で受けられるサービス(訪問看護・訪問介護・訪問入浴など)
 - ・サービス事業所に出掛けて日帰りで利用する(デイサービス・デイケアなど)
 - ・施設などで短期間生活(宿泊)をするサービス(ショートステイ)
 - ・福祉用具の貸し出しや購入



<利用方法>

ケアポート庄川在宅介護支援センター又は砺波市地域包括支援センターなどにご相談願います。

居宅介護支援サービスを受けるまでの流れは、次のとおりです。

① 要介護認定申請

砺波地方介護保険組合の調査員が訪問して、心身の状態などを聞きします。その結果と主治医の意見書を基に、介護を必要とする度合いが認定されます。

② 居宅介護支援事業者選定

利用者は、ケアプランを作成する事業所(ケアポート庄川など)を選びます。

③ 契約締結

利用者は、居宅介護支援事業所と契約を結びます。また、ここで利用者を担当するケアマネジャーが決まります。

④ アセスメント

ケアマネジャーが利用者や家族と面接し、生活全般に関わる情報収集や分析により、利用者のニーズを明確にします。

⑤ ケアプラン原案作成

ケアマネジャーが利用者のニーズに沿ったケアプラン原案を作成します。

⑥ サービス調整

ケアマネジャーは、利用者や家族の意向を聞き、支援サービスを担うサービス事業所を選択します。

⑦ サービス担当者会議

ケアマネジャーはサービス担当者を召集し、ケアプランの内容を検討します。

⑧ ケアプラン確定

ケアマネジャーはケアプランを確定し、利用者やサービス事業所とケアプランの目標やサービス内容を共有します。

⑨ 契約締結

利用者は、サービスを提供される各事業所と契約を結びます。

⑩ サービス利用

ケアプランに基づいた利用者のサービスが始まります。

⑪ モニタリング・評価

ケアマネジャーは、利用者の状態や生活状況は刻々と変化するため、当初のケアプランどおりで良いかどうかを確認します。

※ケアマネジャーは、必要に応じて再アセスメントを行い、ケアプランを修正します。

ボランティアさんをご紹介します

庄川町赤十字奉仕団

赤十字奉仕団は全国的な組織であり、人々の幸せを願い色々な支援活動をされております。全国における団員数は126万人であり、富山県支部には62団体 約4,000人の団員で結成されております。

また、私たち庄川町赤十字奉仕団は160人余りの団員で結成されており、自治振興会や民生委員の方々にも団員として色々とご協力、活動をしていただいております。

庄川町赤十字奉仕団では、在宅一人暮らし高齢者の訪問や防災訓練、研修会、募金活動、献血運動の推進、ケアポート庄川の除草作業、ボランティアフェスティバルへの参加協力等を主な活動としていますが、多くの皆さんのご協力に支えられて長い間続けさせていただいております。また、3年前からは新たな取り組みとして、ケアポート庄川の介護予防や認知症予防を目的として運営されている『予防ひろば』の利用者さんと、いきいき百歳体操やレクリエーション等によるふれあいを毎週2日間活動させていただいております。

これからも地域に根ざした大切な活動として進めていきたいと思っております。

委員長 島田 倭子



橋場和彦さん・恵子さんご夫妻

月に一度、ケアポート庄川2階西街で紙芝居を6年以上続けさせていただいております。母がケアポート庄川にお世話になることがきっかけとなり、初めは妻が申し出て2題づつお話しさせていただいたのですが、「男の声は響きが良い」とか、何かとおだてられて私も手伝うことになり、その後は夫婦ですることになりました。紙芝居は、2題で15分程度に収まるようにあまり長すぎないものとし、また親しみやすい話の内容で、絵は色彩や表現が豊かなものにしようと悩みながら、図書館で選んでいます。また、長く続けているとだんだんと新しい作品を選びにくくなりますが、一方で、図書館所蔵の紙芝居には面白い昔話や童話がまだ多くあるので、紹介できる方法をいろいろと模索しています。毎回話す度に、紙芝居の内容が十分に伝わっているのか心配になりますが、それでもお集まりの皆様から最後に笑顔で拍手をしていただいた時は、有難く感謝の気持ちで一杯になります。

この場を借りまして、毎回会場のお世話をしている職員の方々、また日頃から入所の皆さんのお笑顔を支えていただいている職員の方々に改めて感謝申し上げます。

橋場 和彦

